社会医療法人
美杉会

佐藤病院

前立腺がんに有効なIMRTを行っています

IMRT は、前立腺がんを手術なしに治す強度変調放射線治療です。正常な組織への放射線量を抑え、腫瘍への線量を増加することで、身体に優しい治療が可能です。

IMRT（強度変調放射線治療）Q&A

Q　IMRT ってどんなことをするの?

A　IMRT とは、最新のテクノロジーを駆使して照射野内の放射線強度を変化（変調）させて行う治療法です。腫瘍に十分な線量を投与しつつ、正常組織への線量を抑えるような線量分布を作成することが可能です。

Q　放射線治療は痛くないの?

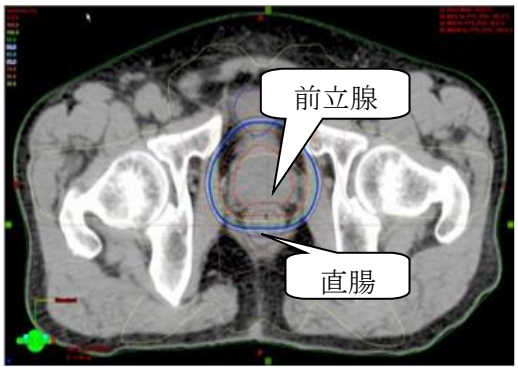
A　放射線を照射することによる痛みは絶対にありません。ただし治療の回数を重ねていくと副作用として皮膚の反応や粘膜の反応により痛みを伴うことがあります。詳しくは、放射線治療担当医にお尋ねください。

Q　重篤な副作用はないの?

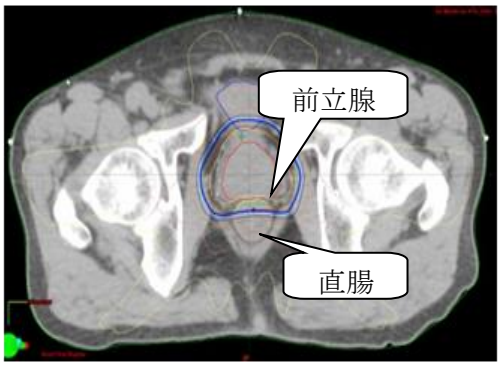
A　放射線治療の副作用は、急性期（治療中や終了直後）に発生するものと、晩発生（終了後半年から数年後）の２種類に大別されます。前立腺 IMRT の場合問題となるのは、晩期に発生する直腸出血と言われていますが、通常の放射線療法と比較するとその発生率は、１７%から２%以下に減ったと言われています。

放射線量分布図

通常照射の画像



IMRT の画像



◎青いラインが処方線量の９０%を示し、直腸の線量が低減されているのがわかります。

前立腺がんに対するIMRT（強度変調放射線治療）の流れ

1 **医療相談・初回診察**
放射線治療専門医が患者さんの状態・ご要望をしっかりとお伺いし、治療について丁寧にご説明をした上で治療方針を決定します。

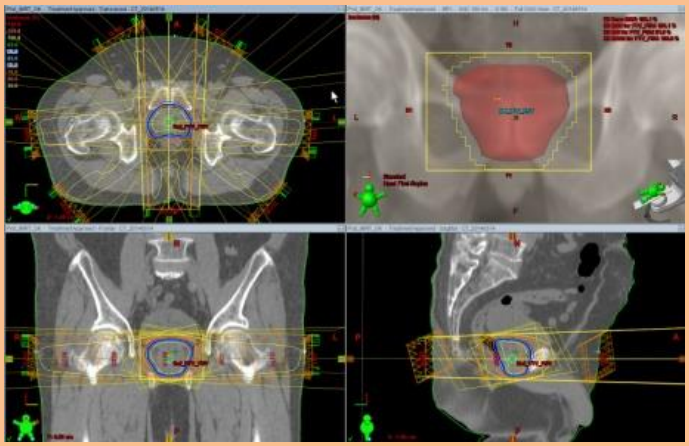
2 **看護師面談**
外来専門看護師から通院で治療される患者さんに日常生活におけるきめ細やかな指導を行い、時に予想される有害事象を的確に評価し、時機を逸せず効果的な予防策を提供します。

3 治療計画のための **CT を撮影**します。放射線治療専門技師のもと、患者さん専用の固定具を作成します。

4 放射線治療専門医、医学物理士が専用のコンピュータを用いて治療計画を立て、その患者さんに最も良い**治療計画を作成**します。

5 IMRT では全例、**事前の線量検証**を行います。放射線治療品質管理士のもと、治療計画装置で計算された線量と実際に照射する線量との間に相違がないか確認します。

前立腺 IMRT の治療計画



実際の治療

6 治療室で皮膚の印にレーザーを合わせこみ、確認のために**照合写真を撮ります**。また、前立腺の位置合わせのため CT 撮影も行い治療計画通り治療ができているか確認します。

7 治療室へ入室から退室まで約 20 分ですが、実際**治療ビーム**が出ている時間は 2 分程度です。

8 **治療期間**は、1 日 2 Gy×38 回　76Gy
（病期により異なります）

院長　河合泰博

前立腺肥大症は良性腫瘍で転移はしませんが、肥大が進むと尿道や膀胱を圧迫して、排尿障害がおきやすくなります。前立腺がんは悪性腫瘍で、骨やリンパ節などに転移することもあります。
当院では、前立腺肥大症にはバーサパルスレーザーを、前立腺がんには最新の IMRT（強度変調放射線治療）が可能な医療設備を揃えています。

当院、泌尿器科ではバーサパルスレーザーによる前立腺肥大症の治療も行っています。

IMRT ご希望の患者さんは、
当院、放射線治療科までご相談ください。

社会医療法人　美杉会
佐藤病院　放射線治療科

枚方市養父東町 65-1
☎072-850-8711（代表）
http://misugikai.jp